

2019年2月6日

受験生各位

神戸学院大学

2019年度一般入試前期日程における入試ミスについて

本学が2019年2月1日（金）に実施しました2019年度一般入試前期日程の「世界史」におきまして、下記のとおり入試ミスがありました。

受験生の皆さまにお知らせしますとともに、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今回の事態を真摯に受け止め、再発防止に努めてまいります。

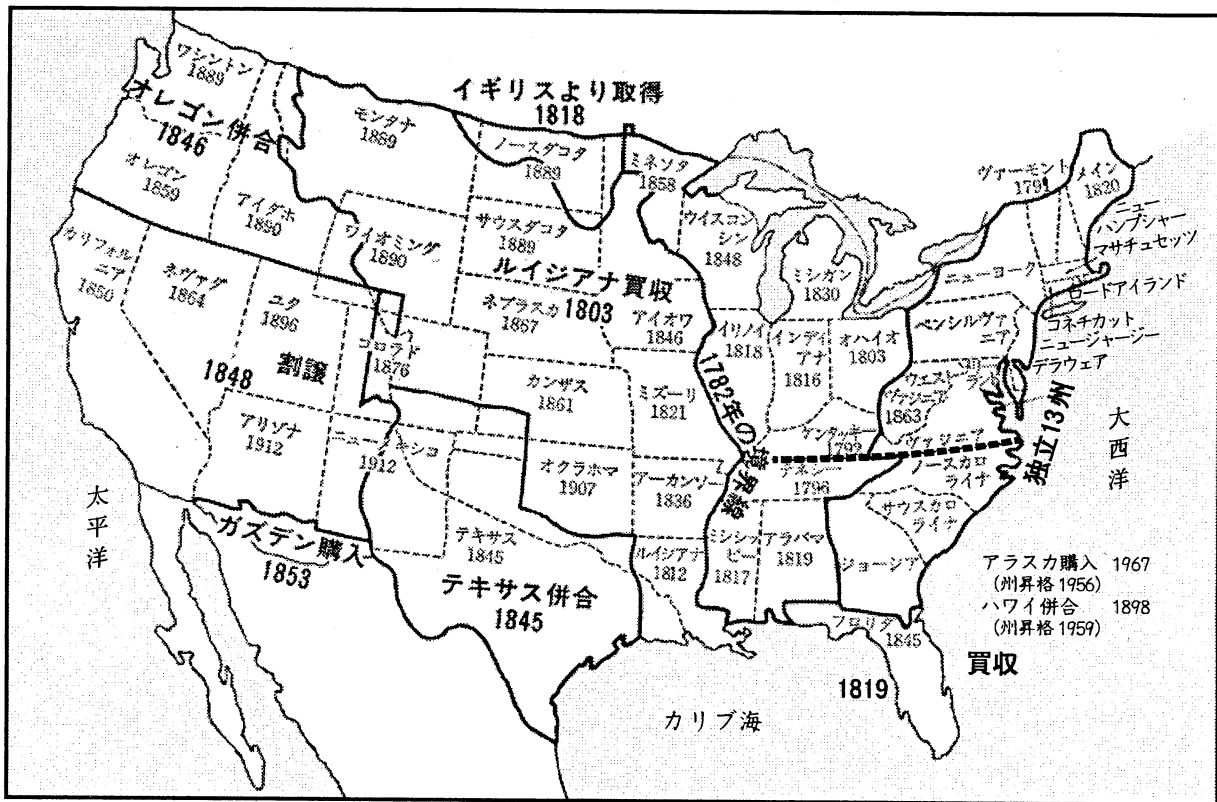
記

| | |
|-----------------|--|
| (1) 対象となる学部学科名 | 法学部、経済学部、経営学部、人文学部、心理学部、現代社会学部、グローバル・コミュニケーション学部（グローバル・コミュニケーション学科 英語コース、中国語コース）、総合リハビリテーション学部（社会リハビリテーション学科） |
| (2) 試験実施年月日 | 2019年2月1日（一般入試前期日程第1日） |
| (3) ミスのあった試験科目 | 世界史（選択科目） |
| (4) 当該科目の受験者数 | 397名 |
| (5) ミスの内容 | <p>Ⅲ 問12 選択肢に記載された西暦に誤りがありました。</p> <p>選択肢 C につきまして、「奴隷州と自由州のバランスを取るためのミズーリ協定が 1854 年に違憲とされ・・・」とありますが、「奴隷州と自由州のバランスを取るためのミズーリ協定が 1857 年に違憲とされ・・・」とするべきでした。</p> <p>Ⅲ 問13 地図に補足として記載された西暦に誤りがありました。</p> <p>合衆国領土の膨張と各州の連邦加入図に補足として、「アラスカ購入 1967（州昇格 1956）」とありますが、「アラスカ購入 1867（州昇格 1958）」と記載するべきでした。</p> |
| (6) ミスのあった問題の抜粋 | <p>Ⅲ 問12 5) の段落にある奴隷制度に関連して、この問題には北部と南部の諸州が主張する政策の対立が大きく影響していた。これについての説明として最も適切でないものを次の A～Dの中から1つ選べ。</p> <p>A 北部は工業化に活路を見出しイギリスの工業製品に対抗するため、国内市場確保を図り自由貿易政策を主張した。</p> <p>B 南部はイギリスの産業革命の進展により綿花輸出が増加し、黒人奴隷を労働力とするプランテーション農園の経営が基幹産業であった。</p> <p>C 奴隷州と自由州のバランスを取るためのミズーリ協定が 1854 年に違憲とされ、西部開拓による州の動向に北部は危機感と反発を強めていた。</p> <p>D 南部諸州は州政府の権限や州の自治を認める州権主義を主張し、連邦政府による統制を嫌った。</p> |

Ⅲ 問 13 下の地図を参照して、各文の波線部が最も適切でないものを次のA～Dの中から1つ選べ。

- A 1782年の境界線の基となったものがミシシッピ川である。
- B アメリカの西部開拓は、1869年の大陸横断鉄道完成によって初めて太平洋岸に達した。
- C 地図中の点線は、ミズーリ州の誕生に伴って西部の各州で奴隷を認めるか否かを決定する1820年の協定の基準となった。
- D 西海岸のカリフォルニア州は、テキサス併合に伴うメキシコとの戦いの結果獲得された。

合衆国領土の膨張と各州の連邦加入図



C・A・ビアード著『アメリカ政党史』より

| | | |
|-----------------|-----------|-----------|
| (7) ミスのあった問題の配点 | Ⅲ 問 12 3点 | Ⅲ 問 13 3点 |
| (8) ミスのあった科目の満点 | 150点 | |
| (9) 対応等 | | |

Ⅲ 問 12

当該問題につきまして、「選択肢 A」と「選択肢 C」のどちらかを解答した受験生を正解とします。

Ⅲ 問 13

正答は「選択肢 B」ですが、全ての選択肢の波線部はアラスカの領有には関係せず、アラスカ購入年や州への昇格年が図中の年であっても、解答を導き出すうえで支障をきたしませんので、特別な対応は行わず当初の正答で採点を行います。